

# 茅ヶ崎セントラルクリニック

神代 慶子 ( 薬局 / 主任 )

**功 績** 患者さん一人ひとりに寄り添い、服薬の状況、他院での処方をしっかり把握しながら、アドヒアランスを常に意識した親身な対応を実践しているとともに、2022年度は患者さんが増加したにもかかわらず前年対比495万円の医薬品費減少に貢献した功績。

**推 薦 者**

**推 薦 理 由**

院長 仙賀裕

日々の患者さんに対する親身な対応が実践できているほか、経営に対してもしっかりと自分にできることで貢献している仕事ぶりは理事長賞に相応しいと考え推薦いたします。

## 内 容

---

神代は入職して20年になる薬剤師です。当院においては薬剤師は1名のみの配置で、175名の患者さん全員分の服薬管理をしています。神代に患者さんの服薬状況を聞けば、すぐに回答できる程、患者さん一人ひとりのお薬については暗記しています。

彼女は医師、看護師と連携し、患者さんの具合を聞き、適切な情報を発信することができます。日中はベッドをまわり、患者さんに声をかけ、一方的な指導ではなく、患者さんの意志をきちんと確認して、親身に対応していることで、患者さんからの信頼も厚い薬剤師です。

2022年度は月100件程度、他院処方薬の確認を実施し、調剤薬局を通じて処方医に疑義照会を行い、重複投与や過量投与となっていたケースを発見、処方変更となって患者さんの安全に寄与しました。また、昨年度は患者数累計で2021年度に比べ500件近く透析回数が増えたにもかかわらず、薬品卸業者への交渉を通じて、腎性貧血に必要なダルベポエチン（使用高月平均100万円程度）の単価を約11%下げること成功、その結果、医薬品費は前年対比で495万円の減少となりました。

今年度からは毎週月曜日に行う経営会議にも加わり、より幅広く経営に参画してもらい、彼女の能力を最大限に発揮して頂きたいと考えています。